

平成 23 年度公立大学法人滋賀県立大学臨時経営協議会 議事録

日時・場所 : 平成 24 年 1 月 11 日 (水) 10 : 00~12 : 00 評議会室

出席者 : 曾我理事長、川口副理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事、上野委員、吉川委員、北村委員、南委員

欠席者 : 高橋委員、

事務局 : 堀部事務局次長、垣立総務グループ統括、小島財務グループ統括、高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、藤野教務グループ統括、橋本図書情報グループ統括、久保田地域貢献研究推進グループ統括、松野副参事、茶谷主任主事、岩間主任主事

【議 題】

(1) 公立大学法人滋賀県立大学第 2 期中期計画 (素案) について

資料に基づき各担当理事から各項目の説明があり、意見交換を行った。提案された意見も参考に、1 月 30 日の将来構想委員会で集約した結果を各委員に報告することとなった。

(主な質疑・意見等)

計画全体への意見

- ・第 2 期の計画でありながら、第 1 期の経験に基づきどう取組むかという視点を感じる計画が少なかつた。第 1 期からの課題が素案からは判断できないので、分類して記載すると理解し易いのではないか。
- ・具体性に欠ける。独自性が伝わらず、画期的な計画が見当たらない。計画の中に数値目標を加えて具体化していくといいのではないか。
- ・中期計画の素案に、現場・学生の声が反映されているか。ヒアリングなどでニーズをとらえ、反映できる意見は具体化したらどうか。

地域貢献に関する計画への意見

- ・近年では企業の海外流出が増えている。企業の地元への定着をはかるため、彦根エリアだけでなく、東近江～湖北エリアの企業との交流についての計画を入れてはどうか。
- ・中期計画 25 について、企業の幹部などに特別講義を依頼し、民間企業との連携・交流を進めていくのはどうか。また逆に、民間企業に本学教員が出向いて出張講義を行い、交流を図る方法もある。その他、県内高校との具体的な取り組みを盛り込むのもいいのではないか。
- ・24 年度計画 40 について、「県の南部地域での講座の開催」との記述があるが、人口が増加している草津市に絞るなど、具体化してはどうか。

国際化に関する計画への意見

- ・国際化に対応して、英語授業の充実化が述べられているが、企業が今求める人材は、は英語だけでなく、中国語もできる人材である。マーケットの東アジア全土への広がりを見直し、グローバル化に対応するため、語学教育においては中国語など、東アジアを重点においた教育にも取組ん

でいけばいいのではないか。

経営に関する計画への意見

- ・24年度計画52の女性教員の採用は、男女共同参画社会を推進する上では、具体的に女性教員採用の比率を示さない限り、言葉だけで終わってしまう可能性がある。

【報告事項】

- (1) 公的研究費の不適切な処理に関する調査結果について
資料に基づき垣立総務グループ統括から報告があった。
- (2) 平成24年度滋賀県立大学推薦入学選抜等特別試験の合格状況について
資料に基づき藤野教務グループ統括から報告があった。

(主な質疑・意見等)

- ・募集要項で「若干名」との記載があるが、「若干名」と記載すること、またその人数を募集定員に含まないことに対する文科省からの意見・指摘はないか。今後指摘される可能性もあるので、留意されたい。

→

現在のところ指摘はない。私費留学生については、日本語試験での不合格、また他大学への進学など流動性が高いため、定員を定めるのが難しいのが現状である。

【その他】

- (1) 国際コミュニケーション学科開設準備状況について
資料に基づき高田経営戦略グループ統括より報告があった。
- (2) 新棟建設について
資料に基づき川口副理事長より報告があった。
- (3) エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書について
資料に基づき小島財務グループ統括より報告があった。